

レボカルニチン FF 錠 250mg「トーワ」の 安定性に関する資料

東和薬品株式会社

1. 加速試験¹⁾

■目的

レボカルニチン FF 錠 250mg「トーワ」の安定性を確認するため、加速試験を実施した。

■結果

包装形態：PTP 包装した製品

試験条件：40℃、75%RH、3 ロット(n=3)

試験項目	開始時	6 箇月
性状	白色のフィルム コーティング錠	同左
確認試験	適合	同左
製剤均一性	適合	同左
溶出率(%)	98.5～104.4	99.6～104.9
含量(%)	100.7～102.2	100.3～101.5

■考察

最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度 75%、6 箇月)の結果、レボカルニチン FF 錠 250mg「トーワ」は通常の市場流通下において 3 年間安定であることが推測された。

2. 無包装状態における安定性²⁾

■目的

レボカルニチン FF 錠 250mg「トーワ」の無包装状態における安定性を確認するため、苛酷条件下における試験を実施した。

■結果

《試験条件》

温度：40℃、遮光、気密容器

光：25℃、20%RH 以下、3000lx、シャーレに入れラップで蓋をしたもの（乾燥剤入り）

湿度①：25℃、60%RH、遮光、開放シャーレに入れたもの

湿度②：25℃、75%RH、遮光、開放シャーレに入れたもの

試験項目	開始時	温度	光
		3 箇月	120 万 lx・hr
外観	白色のフィルムコーティング錠	変化なし	変化なし
含量	規格内	変化なし	変化なし
規格：95.0～105.0%	99.5%	100.2%	100.4%
硬度	規格内	変化なし	変化なし
規格（参考値）： 20N 以上	230N	201N	248N
溶出性	規格内	変化なし	変化なし

試験項目	開始時	湿度① (25℃、60%RH)	湿度② (25℃、75%RH)
		24 時間	24 時間
外観	白色のフィルムコーティング錠	変化なし	変化なし
含量	規格内	変化なし	変化なし
規格：95.0～105.0%	101.3%	100.8%	100.2%
硬度	規格内	変化なし	変化あり* (規格内)
規格（参考値）： 20N 以上	214N	172N	144N
溶出性	規格内	変化なし	変化なし

*：214N（開始時）→168N（規格内：8 時間）→144N（規格内：24 時間）

注）「(社)日本病院薬剤師会：錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)、平成 11 年 8 月 20 日」を参考に評価した。

【評価基準】

分類	外観	含量	硬度	崩壊性 溶出性 類縁物質
変化なし	外観上の変化を、ほとんど認めない場合	含量低下が 3%未満の場合	硬度変化が 30%未満の場合	規格値内の場合
変化あり (規格内)	わずかな色調変化(退色等)等を認めるが、品質上、問題とならない程度の変化であり、規格を満たしている場合	含量低下が 3%以上で、規格値内の場合	硬度変化が 30%以上で、硬度が 2.0kgf (20N) 以上の場合	
変化あり (規格外)	形状変化や著しい色調変化等を認め、規格を逸脱している場合	規格値外の場合	硬度変化が 30%以上で、硬度が 2.0kgf (20N)未満の場合	

3. 引用文献

- 1) 東和薬品株式会社 社内資料：加速試験(M73604-1)
- 2) 東和薬品株式会社 社内資料：無包装状態における安定性試験(M73625-3、M74485-1)